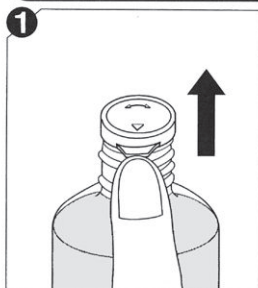


# —患者さんへのお知らせ—

## 計量ピペットの使い方

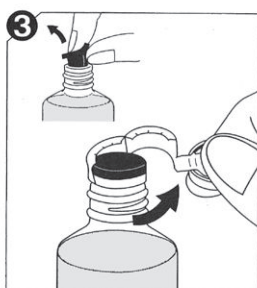
下記の使用方法をよく読んでお飲み下さい。



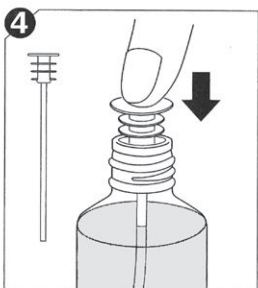
薬液の入ったびんのキャップの蓋をまっすぐ上に起こします。



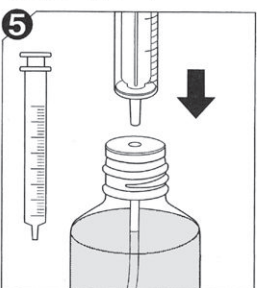
蓋を矢印の方向にゆっくり口金を引いて下さい。(強く引きすぎると両端が切れてしまいます。また、口金の切断面に手を触れないよう注意して下さい)



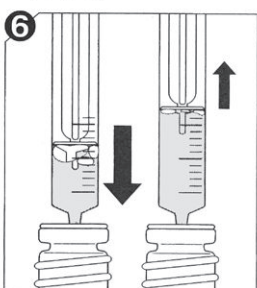
● 矢印のように回して口金をはずして下さい。  
● ゴム栓を取り外して下さい。(ゴム栓は不要ですので捨てて下さい)



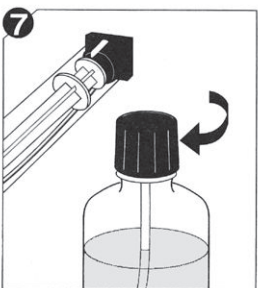
添付のケースからチューブ付きの中栓を取り出し、びんにしっかり装着して下さい。



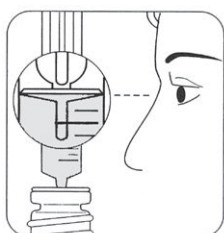
ピペットを中栓の穴に差し込んで、指示された用量をはかります。



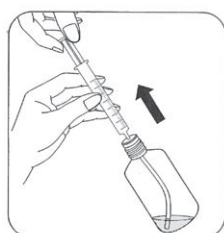
ピペット内に空気のアわが入ると正確にはかれませんので、ピペットの内筒を数回往復させてあわを排除します。(通常この操作は3～4回繰り返します)



- 使用後はピペットの外側を清潔な紙タオルなどで乾燥ふき取りして、ケースに戻します。(水洗いしないで下さい)
- チューブ付きの中栓はびんに装着したままで添付のプラスチックキャップをして下さい。



目盛を見るときは、ピペットをまっすぐに立てて下さい。



液量が少なくなったらびんを斜めにして静かに操作します。

## ご 注 意

- 開封時に口金の切断面に手を触れないよう注意して下さい。(切断面が鋭くなり、けがをすることがあります)
- 自分で飲むのをやめたり、用量を変えたりしないで、指示された用法どおりにきちんと服用して下さい。
- このお薬は低い温度(5℃以下)で保存すると、沈殿を生じることがあります。その場合は常温において、沈殿が溶けてから使用して下さい。冷蔵庫には入れないで下さい。
- 服用中に異常があれば、主治医に相談して下さい。